

科目名:心理学

単位時間:1単位(30時間) 1学年

科目目標: 人間の心・行動に関する基礎知識や人間理解の方法について学び、自己および他者の心・行動について理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 心理学の概要を知る。	28 (14回)	1) 心理学とはどのような学問か (1) 心理学の対象と領域 (2) 心理学の各領域とその中心的な話題	参考: ピアジェ ボウルビイ エリクソン ハヴィガースト 等の発達理論
2 生涯発達過程における人間の発達課題を理解する。		1) 生涯発達という考え方 2) 発達段階と発達課題 (1) 乳幼児期から児童期 ①愛着行動 ②認知発達 ③自我の発達と自己概念 ④社会性の発達 (2) 思春期から青年期 ①性のめざめ ②アイデンティティの獲得 ③人格の形成と発達 ④適応・不適応 (3) 成人期・老年期 ①喪失・悲嘆 ②成熟と自己実現	
3 感覚と知覚、認知、記憶、言語の働きを知る。		1) 感覚・知覚の様相 2) 学習と認知 3) 記憶と情報処理 4) 思考と言語	
4 動機付けと行動変容を理解する。		1) 動機付けとは (1) 動機づけのメカニズム (2) 社会的動機 2) 行動変容とは	
5 欲求と適応について理解する。		1) 欲求と適応 (1) マズローの欲求階層 (2) フラストレーション(欲求不満)とコンフリクト(葛藤)	
6 性格と知能を理解する。		1) 性格 2) 知能	
	試験2H		

科目名:論理学

単位時間:1単位(30時間) 1学年

科目目標: 批判的思考を学び、情報を多角的に論理的に判断する力を養うことができる。論理的な考え方、論理的な表現方法の技術を学び、論理的に思考する力、文章表現能力を養うことができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 論理的なものの考え方を理解する。	28 (14回)	1) 論理的なものの考え方とは (1) 演繹的推論 (2) 帰納的推論	
2 論理的な表現方法を理解する。		1) 批判的思考 2) 文章の読み方 (いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どうしたか) 3) 言語化の必要性和トレーニング (1) 主張と理由 (2) 思考の表現 (3) 事実の分析 4) ディベートの方法と実際	
3 論理的な文章を用いて記述できる。		1) 論文の作成の基礎	
	試験2H		

科目名:社会学

単位時間:1単位(30時間) 1学年

科目目標: 社会的存在としての人間を理解するとともに、多様な社会関係の中での物の見方・考え方を理解できる。また、社会の中での自己の役割を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 多様な社会と社会的存在としての人間を理解する。	28 (14回)	1) 人間と社会 (1) 社会的存在としての人間 (2) ライフサイクルと社会的役割 (3) 地域社会における人間の生活 (4) 差別と人権、人権意識の普及 2) 現代社会と人間 (1) 少子高齢化 (2) 価値観の多様化 (3) ジェンダー (4) 情報化	
2 現代社会における家族のあり方について理解する。		1) 現代社会と家族 (1) 現代社会と経済事情 (2) 現代社会と家族 ①家族とは ②家族の構造と機能 ③家族のライフサイクル ④家族関係の日本的体質	
3 現代社会における社会構造と医療の関係について理解できる。		1) 逸脱としての病気 (1) 病気行動 (2) 病人役割 2) 医療が人びとの生活に与える影響 3) 労働と健康(過労死等)	
	試験2H		

科目名:教育学

単位時間:1単位(30時間) 2学年

科目目標: 教育が文化・社会の動態と人間の成長発達に影響することを理解するとともに、生涯学習の必要性を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 教育の目的と意義について考える。	28 (14回)	1)「教育」とは何か 2)「子ども」とは何か 3) 教育的配慮	
2 教育の歴史と構造について理解する。		1)教育思想史の概略 2) 保育・幼児教育 3)学校教育の内容 (1)学校体系 (2)系統主義・経験主義 4)諸外国の教育制度 5)病気の子どもの教育 6)教育現場における合理的配慮 7)生涯学習	
3 教育評価の目的と方法について理解する。		1) 教育評価の目的 2) 教育評価の種類 (1) 相対評価 (2) 絶対評価 (3) 到達度評価 3) 教育評価の類型 (1) 診断的評価 (2) 形成的評価 (3) 総括的評価	
4 教育の具体例や現代の課題について考え		1)インターネットと教育 2)マイノリティ教育 3)道徳教育 (1)道徳とは何か (2)「命の大切さ」は教えられるのか	
	試験2H		

科目名:人間関係論

単位時間:1単位(15時間) 1学年

科目目標: 人間関係の基礎としてのコミュニケーションについて学習し、自己を理解し自己成長することができ

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 人間関係の基礎を理解し、自己成長する必要性を学習する。	14 (7回)	1) 人間関係とは (1) 人間関係成立の要因 (2) 社会的相互作用と社会的役割 (3) 人間関係とコミュニケーション ①コミュニケーションの概念 ②コミュニケーションの要素 ③コミュニケーションの特性による分類 ・言語的コミュニケーション ・非言語的コミュニケーション ④コミュニケーションのプロセスに影響する因子	演習を含む 来談者中心療法 非言語的コミュニケーション(NVC)等
2 人間関係を成立・発展させるための技術の基本を理解できる。	試験1H	1) 人間関係のスキルトレーニング (1) 自己理解 ①対人関係の中の自己の行動パターン ②アサーション (2) 他者理解 (3) カウンセリング ①カウンセリングの概念 ②カウンセリングの方法 ③カウンセリングの実際 (4) 傾聴・受容・共感 (5) 個人の意志と集団の意志決定 ①リーダーシップ ②メンバーシップ (6) ストレスマネジメント ①自分のストレス状況とストレス反応 ②ストレスと人間関係 ③ストレスコーピング	

科目名:情報科学

単位時間:1単位(30時間) 1学年

科目目標: 情報科学の概念と情報処理に必要なパソコンの基礎知識・活用技術を学ぶ。また、情報収集と活用について学ぶとともに、情報倫理の現状と必要性を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 医療従事者としての電子情報の取り扱い方を理解する。	28 (14回)	1) 情報科学の概念 2) 情報倫理 3) 情報管理 4) 情報開示と守秘義務	個人情報保護法含む
2 統計学の基礎理論と基本的な統計データの整理の仕方を理解する。		1) 統計学の基礎理論 2) 医療現場におけるパソコンの利用と統計学的考え方の必要性 (1) データとは (2) データの収集(サンプリング) (3) データの種類と分類 (4) データの誤差と精度 (5) 表とグラフを用いたデータのまとめ方 (6) 統計資料の読解	
3 パソコンを使用して情報の処理、保存、更新の実際を習得する。		1) パソコンの概要と基本操作 2) コンピュータの基礎 3) 電子情報の保存と管理 4) 医療従事者としての個人情報の取り扱い方 5) エクセル等を利用したデータ整理と統計処理 6) 文献検索の方法	
	試験2H		

科目名:物理学

単位時間:1単位(15時間) 1学年

科目目標: 物理学の基礎を理解し、看護活動に応用できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 身体ケアに関する物理学を理解し看護活動に応用できる。	14 (7回)	1) 身体ケアに関する物理学 (1) 単位 (2) 力の加減とボディメカニクス ①ベクトル(量) ②力のつりあい ③力の合成 ④作用、反作用 (3)トルクの原理と体位変換 ①身体に見られるてこ ②トルクと体位変換 (4) 重心 ①重さと重心 ②人体の重心 ③重心と安定性 (5) 熱(体熱の喪失とバランス) ①伝導とは ②対流とは ③輻射とは	
2 治療・処置に関する物理学を理解する。		1) 治療・処置に関する物理学 (1) 圧力 ①血圧 ・血圧とは ・血圧測定と圧力の関係 ②酸素ボンベ ・「ボイル・シャルルの法則」とは ・酸素吸入への応用 ③低圧持続吸引・サイホン ・低圧持続吸引(サイホン)とは ・ドレナージへの応用 (2) 音、光 ①超音波 ・音の基礎知識 ・医療における音波:超音波 ②ファイバースコープ ・光の性質と種類 ・医療における光の応用:ファイバースコープ	
	試験1H		

科目名:英語

単位時間:1単位(30時間) 2学年

科目目標: 看護活動に必要な基礎的な英語能力を高めることができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 基礎的な英文法が再認識できる。 2 基本的な英文講読ができる。 3 医学・看護英語の解釈ができる。	28 (14回)  試験2H	1) 英文法の基礎知識  1) 看護に関する英文の講読  1) 人体各部の解剖学的名称、生理学的名称 2) 主な病名、症状 3) 医学、看護用語	

科目名:英会話

単位時間:1単位(30時間) 3学年

科目目標: コミュニケーションとして必要な英会話を学ぶことができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 基本的な日常生活での英会話ができる。 2 基本的な看護場面での英会話ができる。	28 (14回)  試験2H	1) 日常生活の英会話 (1) 医療、健康、社会、生活の中での英会話  1) 看護場面で用いるさまざまな表現 (1) 外来患者への対応 (2) 入院患者への対応 2) 患者が症状を訴えるさまざまな表現	



科目名:体育

単位時間:1単位(30時間) 3学年

科目目標: 身体活動を通して澁刺とした心身を育成することができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
看護に必要な基礎体力をつける。	30 (15回)  試験含む	1) 筋力トレーニング 2) ストレッチ 3) 体力強化運動 4) 各種スポーツ	実技

科目名:運動と健康

単位時間:1単位(30時間) 2学年

科目目標: 運動と健康の関連を理解し身体を動かすことで心身の育成を促すことができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 運動と健康の関連について理解する。	28 (14回)  試験2H	1) 健康とは 2) 運動と健康とは 3) 現代生活と健康と運動 (1) 運動が心身の健康に与える効果 4) 運動の生理 (1) 運動の中樞神経 (2) 運動の末梢性調節 (3) 運動と筋肉系・循環系・エネルギー代謝 5) 運動の心理 (1) 運動と知覚・パーソナリティ	講義・実技
2 各ライフステージにおいて生活の質(QOL)を向上させるための運動・スポーツについて理解する。		1) 生涯スポーツとは 2) 各ライフステージと運動・スポーツ (1) 女性と運動・スポーツ (2) 青少年と運動・スポーツ (3) 高齢者と運動・スポーツ (4) 障害者と運動・スポーツ	
3 スポーツ医学の概念と現況を理解する。		1) スポーツ医学とは 2) スポーツ医学の現在	
4 人間にとってのレクリエーションの意義と実際を理解する。		1) レクリエーションの意義 2) レクリエーション実践の展開 (1) 高齢者が楽しむレクリエーション (2) 障害者が楽しむレクリエーション	

科目名:哲学

単位時間:1単位(30時間) 3学年

科目目標: 哲学的な考え方、物の見方について学習し、人間の存在や価値観について理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 哲学と倫理学の抽象概念を理解する。	28 (14回)	1) 哲学的思考とは (1) 哲学についての概念 ①哲学成立とその意味 ②哲学的な世界観と人生観	
2 人間の存在・価値観・物の見方を理解する。		1) 倫理学についての概論 (1) 倫理学成立とその意味 (2) 倫理学の普遍性と相対性 2) 人間の理性と感情 (1) 人間の知とは (2) 人間の魂とは 3) 人間の個性と価値観 4) 人間の生き方 (1) 処世術の大家 (2) 様々な愛 (3) 近代合理論と近経験論の先駆者 (4) 倫理思想 (5) 責任と自由 5) 人間の人生観について (1) 量的と質的な幸福感 6) 人間の実存 (1) 実存思想から主体的に生きることの困難を考える (2) 実存思想から死のあり方について考える 7) 現象学からとらえたものの見方 (1) 現象学の特徴 (2) 現象学の展開	
	試験2H		

科目名:文化人類学

単位時間:1単位(30時間) 3学年

科目目標: 様々な環境に適応した人間社会の有様に目を向け、そこに暮らす生活様式や人間関係をめぐる考え方の多様性を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 文化人類学の基本的な枠組みを学ぶ。	28 (14回)	1) 人間と文化 (1) 文化人類学の特徴 (2) 文化の概念 (3) 民族と言語 (4) 文化の進化と伝播	
2 人はどのように人生を歩むのかを儀礼と宗教の視点から考える。		1) 生活様式と人間関係 (1) ライフサイクルと通過儀礼 ①通過儀礼の特徴 ②通過儀礼と境界理論 ③儀礼の構造 2) 宗教と世界観 (1) 宗教とは (2) 憑依・妖術・呪術	
3 人間の病気と死と文化を考える。		1)人間の病と死の文化 (1) 死への対処 (2) 人の死と死体処理 (3) 死者儀礼	
	試験2H		